

目 次

序 章	本書の問題設定とその視角	I
1	先行研究の成果と課題	I
2	「小日本主義」概念の問題点	8
3	問題意識と本書の構成	11

第Ⅰ部 思考方法と哲学

第1章	宗 教 論	22
-----	-------	----

はじめに	22
1 宗 教 観	24
2 日 蓮 論	26
3 キリスト教論	33
小 括	38

第2章	進化論とプラグマティズム	44
-----	--------------	----

はじめに	44
1 「欲望統整」哲学	45
2 進化論的思考の形成—加藤弘之・丘浅次郎批判を手がかりに—	48
3 「真」を追求する思考	55
4 「日本」的視角に根差した思考	60
小 括	71

第Ⅱ部 二つの〈問い〉

第3章	国内政治論	82
-----	-------	----

はじめに	82
------	----

1	天皇・皇室論	82
2	議会政治論	96
小	括	115

第4章 対外論 130

	はじめに	130
1	1910・20年代	131
2	1930・40年代	152
3	1950・60年代	176
小	括	191

第Ⅲ部 *The Oriental Economist* 研究

第5章 *The Oriental Economist* 創刊とその時代 218

	はじめに	218
1	創刊の経緯	220
2	誌面構成	225
3	『新報』掲載のOE誌最新号広告	237
小	括	245

終章 石橋湛山が〈問い〉続けられた理由 252

1	本書のまとめ	252
2	生活の連続性・統一性と漸進的な変化	254
3	今後の課題	255

あとがき

主要参考文献

人名索引